

差別事象等一覧														資料3
番号	①差別事象区分	②手段	③発見・発覚日時	④発見・発覚場所	⑤発見者・通報者	⑥関係機関	⑦行為者	⑧被害者	⑨その他の関係者	⑩事象の概要	⑪経過	⑫関係機関との調整内容	⑬当面の対応	⑭備考
1	障がい	発言	令和6年3月19日	八尾市人権尊重の社会づくり審議会	委員	人権政策課	委員	障がい者		八尾市人権尊重の社会づくり審議会において、議事進行中に出席委員から「手短に」と複数回発言があった。発言を聞いていた他の出席委員から会議中に、「手短に」という表現は身体を用いた不適切な表現であるとの指摘があった。	指摘を受けて、当該発言をした委員から「当該発言は不適切であったため、撤回したい」として、会議中に謝罪及び撤回の申し出があった。	同右	障がい福祉課と連携し、身体を用いた不適切な発言等の差別的な言葉や表現について、広く市民向けに啓発に取り組んでいく。	
2	外国人	発言	令和6年5月2日	市内不動産仲介業者	職員	住宅政策課	物件のオーナー	外国人市民		大阪市在住の男性が、外国籍のパートナーと暮らす住居を探すため不動産仲介会社を訪問。紹介された物件に関して、仲介会社担当者は、「この物件は、昨日外国人の入居を断っている。今回もその可能性があるため、物件のオーナーに確認する。」と言い、オーナーに架電。オーナーも同様に、「外国人は入居を断っている。」と担当者に伝えた。	職員が当該不動産仲介業者に連絡し、外国籍であることを理由に入居を拒否することは差別にあたるため、対応を改善するよう伝えた。また、家主にも伝えるとのことであったため、あわせて対応を改善するよう伝えた。	同右	関係部局から大阪府宅地建物取引業協会東大阪八尾支部及び全日本不動産協会大阪東支部に対し、本事例の概要について説明し、加盟店に対し啓発するよう依頼した。	
3	同和問題	発言	令和6年6月3日	市内路上	市民		高校生	同和地区住民		6/3(月)登校時間中に、市民が自宅前の道路に水を撒いていると、市内高校に通っていると思われる生徒とトラブルになった。やり取りの中で、生徒から「黙れ部落」と言われたと、当事者である市民から市内高校へ通報があった。	市内高校への聴き取りを実施。生徒の自転車には、市内高校のマークと思われるステッカーが貼られていたとの通報を受けて、市内高校で事象の詳細は伏せた上で、「本日、近隣住民とトラブルになった生徒、心あたりがある生徒がいれば名乗り出るように」と該当と思われる学年に校内放送したが該当者は現れなかった。市内高校の生徒が確認ができていないが、事象としては重く受け止めており、市内高校から府教育庁人権企画課に経過を報告。		全教職員を対象とした会議で共有するとともに、教職員を対象とした研修で同和問題をテーマとした研修をさらに実施予定。また、生徒向けとして、毎年、プログラムの中で同和教育を実施しているが、事象を受けてプログラムを見直し、また、HRの中で同和教育を実施予定。	
4	外国人	発言	令和6年6月11日	市内小学校	民族クラブ講師	人権教育課	小学生	民族クラブ講師		下校時に小学校の正門付近で作業をしていた外国にルーツのある民族クラブ講師に対し、講師の名前をもじった発言をした。	教職員間で事象を共有し、発言した児童に対しルーツや名前大切さについて指導するとともに、発言した児童は、当該民族クラブ講師に対して発言を謝罪した。	同右	今後、校内の多文化共生教育の取り組みが児童に実態に即しているのか改めて検証し、さらなる取組の充実を図るとともに学校全体でも啓発を図っていく。	
5	同和問題	インターネット上の書き込み	令和5年11月12日	SNS	職員	人権政策課	投稿者	同和地区住民		SNS上の八尾市長の個人アカウントにおいて、令和5年11月12日に八尾市長が公務の様子を投稿した際に、個人アカウントで「昔、父親は〇〇小学校に通って居ました。踏切事故が多いため、〇〇が出来たらしいですが、私が小学校5年の時に半分が〇〇へ。クラスは半分になりました。寂しかったです。親父も『逆差別！』思い出します。」とのコメントの投稿があった。	八尾市長個人アカウント内の当該投稿が削除済であることを確認済であり、コメント記入者に対して7件め、8件めの事象と併せて投稿内容について聴き取りを行った。		部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくすため、引き続き人権啓発の取り組みを実施するとともに、インターネット上への差別的な書き込みに対応するため、差別事象対応マニュアルの改定を進めている。	

番号	①差別事象区分	②手段	③発見・発覚日時	④発見・発覚場所	⑤発見者・通報者	⑥関係機関	⑦行為者	⑧被害者	⑨その他の関係者	⑩事象の概要	⑪経過	⑫関係機関との調整内容	⑬当面の対応	⑭備考
6	同和問題	インターネット上の書き込み	令和6年6月8日	SNS	職員	人権教育課	投稿者	同和地区住民		SNS上の八尾市教育長の個人アカウントにおいて、令和6年6月8日に八尾市教育長が公務の様子を投稿した際に、個人アカウントで「しかしながら、あの頃の〇〇は大変だったでしょう。こちらは〇〇。小5で友達が〇〇へ。半分になりました。今の子どもたちは何も知りません。何故なのでしょう。」とのコメントの投稿があった。	八尾市教育長個人アカウント内の当該投稿が削除済であることを確認済であり、コメント記入者に対して6件め、8件めの事象と併せて投稿内容について聴き取りを行った。		部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくすため、引き続き人権啓発の取り組みを実施するとともに、インターネット上への差別的な書き込みに対応するため、差別事象対応マニュアルの改定を進めている。	
7	同和問題	インターネット上の書き込み	令和6年8月20日	SNS	職員	人権政策課	投稿者	同和地区住民		SNS上の八尾市長の個人アカウントにおいて、令和6年8月20日に八尾市長が公務の様子を投稿した際に、個人アカウントで「(略)、私が小学校5年になるとき、クラスが半分になりました。あちらは冷房付き。明らかに逆差別ですよ。牛乳も無料。車の免許も無料。団地も何百円。道徳の授業ばかり。経験した人にしかわからないと思います。」とのコメントの投稿があった。	八尾市長個人アカウント内の当該投稿が削除済であることを確認済であり、コメント記入者に対して6件め、7件めの事象と併せて投稿内容について聴き取りを行った。		部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくすため、引き続き人権啓発の取り組みを実施するとともに、インターネット上への差別的な書き込みに対応するため、差別事象対応マニュアルの改定を進めている。	
8	同和問題 外国人	発言	令和6年8月2日	八尾市教育振興基本計画審議会	職員	人権政策課 教育政策課	委員	同和地区住民		八尾市教育振興基本計画審議会第1回会議において、出席委員から「今も、貧困の家庭もある。八尾のJRの辺りの〇〇のエリアでは、昔はあの辺を通ると石を投げられることもあった。今は〇〇の方とかいろんな方が住んでいる。」と、特定の地域名、外国人を挙げて、差別を助長する発言があった。	発言後、出席していた事務局職員から、当該発言は部落差別を助長する不適切な発言であると指摘した。	同右	会議終了後、事務局職員が本人から発言意図を聴き取り、差別性について確認し、後日、発言委員に対して発言内容について聴き取りを行った。第2回会議冒頭にて発言委員より謝罪、第3回会議前に委員全員での学習会を実施した。	